

埼玉県連 訪問 議事録

開催場所	ソシオ熊谷	日時：平成27年 6月25日（木） 13：30 ～ 15：00	
議事録	作成人	日本商工会議所青年部	日本ネットワーク委員会 委員 神林
	署名人	日本商工会議所青年部	日本ネットワーク委員会 副委員長 今泉

次第

- ① 開会、次第、資料確認 ②出席者紹介（日本 YEG・連合会）③伴会長挨拶・日本 YEG についての説明 ④ 連合会の挨拶・連合会の事業等の説明 ⑤フリーディスカッション ⑥質疑応答 ⑦閉会

■伴会長挨拶

関東ブロック栃木県連宇都宮 YEG の伴です。本日は貴重なお時間を頂きありがとうございます。キャッチボールするような形式で進めていきたいと思えます。懇親会にも参加させて頂きます。13単会で人数が多いので小刻みに進めていきたい。まず事業の話をしたい。うちはこんな事業をやっているなど。外部団体と一緒にやっているなどあれば何でも結構なので頂きたい。

埼玉：お手元の冊子。親会で発行している物。青年部の特集を組んでもらい1年の事業を掲載している。さいたま婚活。今年で4年目。行政からの委託で補助金をもらいながら青年部にお願いがきた。年2回開催。一回300人。メンバーの店のチケットも付けたら反応よく。70組二次会に来てもらった。人数が多すぎて分からないという意見があったので。こまちという埼玉の観光大使をやらせてもらっている。行政からの依頼で。会長になって気付いたが総会だったり会の行事もあるので新たな事業が難しい。

伴：親会、行政、他団体と事業他になりますか？

行田：行田もさいたまさんを参考に親会との連携が薄かったので今年は連携を図りながらあとから配った資料があります。はしご酒というのをやっている。今日は各単会の会長の意見をおききたい。親会が主体でやっていたが青年部が中心にやっていきたい。

伴：おもしろそうですね。

春日部：3年前から夕涼みフェスタを開催している。3年で150万円、市からお金をもらっている。夏に市民の皆さんに楽しんでもらうおまつりの開催。補助金も今年が3年目になる。来年以降は新たなやり方と模索していく。3年で終わってしまうので今後の継続の仕方を青年部で揉んでいく。

伴：外部単体とやっている単会さんはありますか？4団体の中央会、JC、商工会が3ヶ月に一回会合をしている。ことあるごとに連携をしていこうと。5月の7日。8月、11月年明けに中央会さんの仕切りで。動きを付けていきたい。

草加：地下鉄8号線誘致活動を千葉県の野田 YEG が主体になっているのに参加をさせてもらっている。商工会の方とも交流して埼玉越谷、八潮。松伏、等々。さいたま、茨城千葉で交流している。

伴：広域の事業をしている所が全国である。JAさんはありますか？農協の青年部さん。漁協はないと思いますが。海が栃木と一緒にないと思うので。

川口：煮物のまちなのでその中での青年部がある。連絡協議会トラック協会、建設協会、10位があるが月に1回集まっている。例会もやっている。YEGに重ねて入っているメンバーが多い現状。

上尾：継続ではないが7月の例会で上尾市内には5団体あり、残りの4団体からお呼びして、商工会の4団体から上尾のメンバーと仮想委員会を創ろうと。会員拡大と自分の団体をどうPRするかなど。企画書の作成発表をする企画。経緯として、4、5年前に単発であった。それからの付き合いで定例会の開催に繋がった。

伴：仮想委員会の話があるが、他団体と合同で委員会をされている所もある。参考にして頂ければ。まちづくりのためにひとつありなのかなと。色んな形でやって頂けると。4団体でも今年やりたいのが、商工会とは以前に合同の懇親会をした。県連会長たちで。JCとやりたい。各地の代表と。懇親会だけでもいいので。YEGとしてやりたい。さいたまさんは県連レベルの集まりは？

県連会長：ないです。

伴：栃木は30年以上前からある。群馬、茨城もあると聞いています。もったいないと思う。同じ年で同じ年代なのに。団体が違えば立ち位置は違うと思うが。まちのためにという思いは同じはず。皆さんの事業を日本に発信してほしい。飲み歩きも面白いし。英語でしゃべらナイトなど。日本のツールを使って発信をして欲しい。代表理事は資料を集めて発信してほしい。広報委員長がたくさんさいたまから出ている。参考にしてやれるところも出てくる。そのための代表理事。日本も全国の皆さんに見てもらいたい。

行政、親会との関係ですが、うちはだめとかありますか？場所によっては会頭が変わって関係が悪くなったとかある。

上尾：非常に関係は良好です。副会頭が日本の副会長もされている。上尾にはJCがない。親会との関係は歴代のJCの会長もいるがYEGの会長をやった方もたくさんいますので。親会からよく言われるのが、これやってくれといきなり言われることがある。隙間がないので無理という怒られたりする。全般的に良好です。

伴：宇都宮でもいきなり言われたことがありました。行政とはどうですか？行政から依頼がある婚活と、街コンは非常に多いと聞きます。さいたまさんも行政からですよ？

熊谷：婚活事業は今年県から補助金を新設して、県連の活動で情報を聞くことができ県にプレゼンに行ってきた。まだ確定はしていないが補助金がつこうがつくまいがやっていきたい。熊谷は風会議を市役所の方とやっている。何を言われるか分からないということで最初は敬遠されていたが、2年前にイルミネーションを復活させたいと市からあった。まちづくり補助金をつかって。商連と協力して青年部がと。それは風会議の2次回から出た話。それが実現した。

伴：風会議は増えてきている。13県連目だが、3、4つ行政とやっているという話があった。地元で小さくてもやった方がいい。日本の担当委員会も藤沢から出ている。オファーをして頂ければ。同じや

り方でなくても構わないので。全国の親会の会頭で青年部のOBは100~150人となっている。現役の副会頭が10人くらいいる。卒業したばかりで会頭になった方もいる。副会頭は200人以上います。中々話が伝わらないということがあれば言ってください。日商の三村会頭もYEGに非常に好意的です。YEGがない場所なんてあるのかいと？呼びかけようかと言ってくれている。東京にも年内にはYEGが発足する動きになっている。さいたまには2単会日本に加盟していない単会がある。飯能と川越さん。声がけをして欲しい。両方知った土地。

川島：関ブロ長が去年伺っています。入口は出来つつある。

伴：何かあれば伺いますので。日本の事業についてご意見を聞きたい。お手元に私のスローガンから各委員会のドキュメントをお出ししていますので見てほしい。こんな事業をやってほしい。これはだめだなど色々な意見があると思う。かかわり

秩父：秩父は山岳地帯なんです。日本に行く方は自分からいっていると聞く。今までいない。行ってくれないかという話になっている。距離感が非常に激しい。意識の問題なのか。伝わり辛い。あいつ何やっているんだとなる。逆にお伺いしたい。

伴：例会だったり、大会会長だったり経験したが、だからこそ単会の事業に出なければと思う。宇都宮に返ったら必ず参加する。サッカーの練習にも行く。顔出しをしている。出向は単会あってこそである。生駒で周年してからJCとサッカーの試合をしていた。夜の懇親会から参加した。この思いになるのに時間がかかるのかなと。出向者は単会あって。出向先で経験したことを単会に持って帰らなければ。つながりを。もう一点、日本も変わってくところがある。春に9カ所、秋に9カ所回る。全部でなくても制約はある。これを変えていこうと。委員会が昔はなかった。専門委員が出来て10数年。理事しかいなかった。対外事業は委員会ではしていなかった。日本を周るのが出向の仕事だった。事業だった。今は専門委員がいて委員会をしている。なので9カ所回るよりも、事業をやるための活動が大事。今年も負担を減らすために全部来なくてもいいとなっている。5つくらいと。重要なのは単会から出てきて経験をして何をもって帰るか。出向者に伝えます。ネットワーク委員会の委員長は岡山大会の大会会長。プロ代もいますので日本の事業でこうしてくれたらいいのになどありましたら。

狭山：13単会で一番メンバーが少ない。40名を切った形でスタートした。県連に2名となっているが1名がやっとだった。これはいかんと思ひ、会員倍増ということで6月までに12名入会してもらった。今年度中に達成したい。再来年ヤングリーダー研修がある。出向を出していかないと。秩父にも勉強しにいった。単会に持ち帰って出向してみないかと進めていきたい。

伴：メンバーの拡大の話をしたい。全国で増加傾向にある。3万人を超えてスタートした。各単会で減っている所はありますか？

なし

伴：時代なのに増えているのはすばらしいこと。例会の出席率。実働はどうなのかとなる。昨年仲田会長の話だと50%前後が平均と聞いている。

上尾：平均で7割。6月は8割。懇親会も8割。会員拡大は45で卒業だが、年代の先輩が出るのはわかっ

ているので今は70名。3年前から拡大をした。毎年10名の卒業があっても同じくらいのメンバーを入れている。新しい人を見ていると商売に繋がると分かっている人が多い。自分で起業した人の入会が増えている。仲よくなないと仕事にならないのもわかっているのが積極的。

伴：例会の7割というのはどういうやり方で？

上尾：昔から。私が入会してから。当時は知らなかったが上尾が高いと認識した。各委員会の活動が活発かなど。出ないメンバーに委員長が声かけをする。活動をしてきたメンバーが歴を重ねたので声かけに繋がっている。

伴：出席率が高い所は昔からという。千葉の柏は9割を超える。年間を通して。それが当たり前になっている。柏は100人の単会で10委員会がある。10人くらいなので声掛けができる人数なのかなど。参考にして頂ければと思います。日本にも言える事。日本が元気かは単会が元気かどうか。各大会について聞きたい。行きにくいとか、会長研修会ももっとこうしてほしいとかありますか？

行田：昨年予定者で参加してきた。単会のメンバーも参加できるような必要性があるのかなど。

伴：7月に岡山で役員会がある。4時間時間をとって代表理事にきっちりとレクチャーしたい。岡山はこうだと。まずは代表理事に理解してもらおう。全国の単会に伝えてもらいたい。秋のブロック大会に全国、会長研修会の時間を取る。見て頂いてこれにメンバーと行きたいなと思うような内容にしたい。日曜日に観光が出来る日程がいいとかありましたら。さいたま県連は専務理事がいますので。

さいたま：お知らせの期間が短い。役員会通ってからだからとは思いますが、県連のタイミングもあるので。

伴：それは今考えている。ATの善し悪し。ATは開かないと見れない。事務局に送っても。握りつぶしている時もあるようだ。ドキュメントでくるとATだと違うのかと事務局に聞くと対処が変わると聞いた。予算建が難しいが、月に1回の発送をしようかと。封書で各単会に。その方が使いやすかったり使ってくれるのでは。その時にATでデータがあるでいいのかなど。両方活用できれば。もう少し早くお手元に届くのかなど。全国大会の時になるぶを春会儀で配った。1万部。全国大会でも利用してもらった。ペーパーは使えよう。データとの共用。予算建が大事。必要な事なのでひねり出していきたい。

深谷：単会の活力につけるのかなど。250名いる。出席率は30から40位。どう考えるべきかとなる。JCも活発。実際の活動をやっているのはJC出身者だったりする。JCに入っていないくてYEGに入ってきた人はなんとなく入りづらいと聞く。ここをなんとかしなければと。深谷YEGに魅力を感じてもらいたい。事業を充実させてYEGに入っている意義や収益につながるような活動。大前提としてやっている。上尾の出席率についても聞いていきたい。

伴：さいたま県連は45卒業は

4

48もあり49、50もある。

伴：石巻が55、木更津が35。JCとの関係も地域性がある。深谷さんのような地域もある。発祥も違うし。いいものはいい。悪いものは悪いと。私もJC出身。地域のために何ができるか。

さいたま：JCはさいたま、上尾と合併しているので各地の行政も委託をしにくい。地域が合併して。

熊谷：商工会と商工会議所がある。青年部同士で交流をしている。

伴：最大3つ商工会議所がある地域もある。行政的にも困る所。日光も2市1町1村だった。志の合併で日光になった。さいたまは1市に1会議所ですね。市に会議所がない所は？

さいたま：越谷ですね。

所沢：埼玉は圧倒的に会議所が多い。

伴：全国では商工会の連合会が圧倒的に多い。7万人くらいいる。単会数も多い。埼玉はまちが多いですからね。こういうものを作ってほしいなど。広域の事業など。

さいたま：日本のHPを見たら他の地区での業者を探していた。発注したいのに事業ナビを見れば良いと思ったみたいで連絡を取って発注をしたらしいが、中身としては違うもの。出向者を出している単会なら直接聞けばいいが。利用のしやすい情報を共有できる者があるといいのかなと。

伴：各年代ごとに作ってきてしまった。色んなものがあり更新されていないのが現実です。今年1年で平らにしようかなと思ったが抵抗もある。メルマガは廃止した。SNSに切り替えた。サーバーも別だったりした。1年かけて整理をしてつながらないものは廃止。統合していきたいと思う。こんな商売をしたい、取引をしたいというのは絶対に必要。そのデータベースもやったが今は繋がっていない。日本の登録システムは現状ない。会員賞ではないが特典があつたりなにかできないかなと。方向性を創っていきたい。一長一短では出来ないところでもある。事業ナビはありますが仕事に直結出来る仕組みづくり。タオルが欲しいとなったときに記念品でもらったタオルがあつた。それが欲しかった。四国のどこかだったか。どうせならメンバーに頼みたいと思うが中々そこに行きつかない。私がいきつかないのに他の人がいきつくはずがない。仕事に直結するようなものにしたい。

所沢：1年日本に行った。色んな単会と話をして。さいたまは比較的都会だし自力で事業を出来る。逆に小さい単会さんは日本に人的だったりお金だったりを求めているのかなと。そういった所に寄り添っていくような事業も必要なのかなと。

伴：各委員会に言っているのはメンバーのためにやる必要があると。それが基本。今月前橋での役員会で小田原の箱根のメンバーに来てもらい現状の話を聞いた。ビジネス応援委員会がそこで事業をやりたいとなった。事業を組みたいと。風評被害から元気づけられるように。九州からも協力が出来ないのかという話もきた。何か商売につなげて応援していきたい。こんな事もやってもらいたいなど頂ければ。日本も会長が変わればやり方が変わると思われるかもしれないが根本は同じです。

蕨：関東も日本も出向が歴代でいない。せめて関東には行ってほしい。県連にきて関東のメンバーを見ていると出て行かないと情報が入ってこないのかなと。蕨内で活動をすればいいのではと歴代の会長の

中で話をしている。会長からも伝えてほしい。

伴：全国で一番人口密度が高い所ですから市内でやれば効率がいいのはありますよね。外に出ていくことが中々しにくいのかな。中で充実していると。次は関東に、日本にとなればいい。関東は恵まれている。羽田に行けば全国どこでも行ける。埼玉は集まり易いのは関東で一番。静岡も含めて。全国では飛行機を2回乗ってくるメンバーもいる。その人たちの思いって何だろうと。そういうものをもって帰って頂けると変わってくるのでは。日本に出向出したことがない所は？

蕨のみ

さいたま：県連会長が持ち回りなので。

伴：ブロック大会もそろそろですね？ヤングリーダーも持ち回りでありますので。埼玉は全国でも動いている。栃木も動いてなかった。全国開催から変わってきた。逆にそれを発信してほしい。県連会長からどんどん。素晴らしい県連だと思うので全国に発信してほしい。

春日部：今年度は各単会を周って各単会の良さを単会に持ち帰ってほしいと活動している。それを大きく出向して全国のいいところを見ていきたい。伝えていきたい。

伴：県連の事業には行ってくださいと伝えている。単会のメインの事業に。広報委員会につなげて発信をして欲しいと代表理事には伝えている。

オブザーバー所沢：埼玉県連は日本一の県連であると自負がある。どこへ行っても突っ込まれる。日本の事業は所沢で必ずアナウンスをしている。日本との距離を縮めたい。

伴：懇親会でも構いませんのでどんどん意見を頂きたい。さいたまからは多くのメンバーに助けていただいている。去年も一昨年もそうだと思っている。足りないところはまた話をさせて頂ければ。今日はありがとうございました。また懇親会でも引き続きお願いします。